

館長のメッセージ

美とふれあいながら、会話しながら、楽しめながら、
美術館の魅力を体現したり、アートの魅力を提供したりしていく…

「～ながラー」！

「～しながら」の「～ながラー」。
会話しながらの「ながら」。

自分のペースでちゃんと関係性をとりながら、
自分のこととして引き受けながら、
相手のことを考えながら。

コミュニケーションというのは当然一人ではできない。
相手があつてのこと。二人の間で「ながら」が生まれる。

一人よがりにならずに、もう一つの存在と、対話しながら、関係性をとりながら。

時間に目盛りをつけたり、土地に境界線を引いたり、
色に名前をつけたりしたのは私たち人間ですが、
時間も土地も色にも境はありません。みんな繋がっているのです。

みんな「～ながラー」です。
私とあなたの間にも「～ながラー」。
私とアートの間にも「～ながラー」。

岐阜県美術館長
日比野 克彦
KIKUNO.

応募条件

- 16歳以上の方*、日本語で日常会話ができる方
*2021年4月現在、ただし18歳未満は保護者の同意が必要
- 美術または美術館に関心があり、積極的に学び、活動する意欲のある方
- 「岐阜県美術館からのメッセージ」「館長のメッセージ」を理解し、共感して活動できる方
- 基礎講座全6回に原則としてすべて参加可能な方
(日程) 2021年4/10(土)、25(日)、5/15(土)、30(日)、6/12(土)、27(日)
- 2021年7月以降、原則として月2回以上の活動に参加可能な方
- インターネットにアクセスでき、パソコンなどのメール送受信やweb会議ツール(Zoom)の使用が可能な方

応募方法

以下の①～③の書類を入れた封筒に
「アートコミュニケーター応募書類在中」と朱記し、
郵送してください。

① 応募用紙

岐阜県美術館ウェブサイト「アートコミュニケーター」のページから
ダウンロードの上、必要事項を記入してください。(11月下旬掲載)

② 課題「アートコミュニケーターに応募する動機と、

その背景になっているあなたにとって重要な体験について」
述べてください。美術館での体験でも、美術館での体験でなくても
かまいません。

③ 返信用封筒1通

定型封筒(長形3号)に84円切手を貼付の上、宛先欄に応募者の
郵便番号、住所、氏名を明記してください。

応募書類郵送先

〒500-8368 岐阜県岐阜市宇佐4-1-22

岐阜県美術館 アートコミュニケーター募集担当 宛

*一度提出していただいた応募用紙等の書類は返却いたしません。

*応募者の個人情報は、アートコミュニケーターの選考に関する事以外には一切使用しません。

ウェブサイトでは、今年の活動の様子や、
～ながラーへのインタビューを
掲載しています。
Q&Aページなどもご参考ください
<https://kenbi.pref.gifu.lg.jp/ac/>

になるには

活動のやくそく

- 1.アートコミュニケーターの活動は無償です。
- 2.交通費、謝礼等の支給はありません。ゼミ及び随時開催される研修に無料で参加できます。
- 3.アートコミュニケーターの登録期間は原則1年間とします(今期は2022年3月まで)。次年度以降は本人と岐阜県美術館が双方合意のうえ、年度ごとに登録更新します。

活動場所

岐阜県美術館など

スケジュール

応募受付期間

2020年12月1日(火)～2021年1月22日(金) 消印有効

1次選考：書類審査

選考結果は2021年2月5日(金)発送で
応募者全員にお知らせします

2次選考：面接

2021年2月26日(金)～28日(日)のいずれか1日
※所要時間は1時間ほどです。日時は後日連絡します。

選考結果発表

2021年3月中旬

2次選考対象者全員にお知らせします。

お問い合わせ

岐阜県美術館

THE MUSEUM OF FINE ARTS, Gifu

〒500-8368 岐阜市宇佐4-1-22

Tel 058-271-1313 Fax 058-271-1315

<https://kenbi.pref.gifu.lg.jp>

2021年度
岐阜県美術館アートコミュニケーター

2期

～ながラー

募集！

2019年に改訂した新ビジョン

「美とふれあい、美と会話し、美を楽しむ」を実現するため、「アートコミュニケーター(愛称：～ながラー)」を募集します!

岐阜県美術館
THE MUSEUM OF FINE ARTS, Gifu

ホームページもチェック!!



25人程度

受付開始 2020年12月1日(火)

締め切り 2021年1月22日(金)

消印有効

～ながラーのながれ

アートコミュニケーター「～ながラー」とは、アートから生まれるコミュニケーションを大切にして、岐阜に生きる人やテーマと結びつきながら、美術館を拠点に「アートの縁」を編んでいく存在です。人と人、人と作品、人と文化をつなぎ、新たな価値や関係を社会にひろげていきます。世代や職業を問わず、どなたでも歓迎！ここでは、～ながラーたちの活動を岐阜の川や水、時のながれに例えています。

基礎ゼミ

全6回の基礎ゼミでアートやコミュニケーションについて学び、アートの冒險に出かける手がかりを得ます。美術館で出会った仲間たちと一緒に、準備を始めよう！

たとえば、こんな内容！

- 今、ミュージアムの特性を活かした活動とは？
- 『きく力』を身につける
- グッド・ミーティング



この舟のろう方式

「この舟のろう方式」とは、一つの舟（=アイデア）に3人集まつたら、そのグループで話し合い、活動を展開していく方法。さあ、仲間と漕ぎだそう！



実践ゼミ

作品鑑賞やワークショップの作り方など、現場で気付いたことをテーマに、実践のポイントを深めます。

岐阜県美術館の
豊富なコレクションの
新たな
魅力を発見！



●日比野館長によるアートゼミ



たとえば、こんな「舟」

- 作品鑑賞をラジオ風に届ける「放送部」丸
- 美術館の建物をマニアックに紹介する「県美帖」丸
- 作品のイメージから生まれた「蜘蛛の巣」丸などコロナ禍に生まれたオンラインワークショップ

多様な人々やテーマをアートで結ぶ

岐阜をアートだけにする「アートまるケット」や作家が滞在制作するアーティスト・イン・ミュージアム（AiM）など、美術館の企画や作品を通して、水が水車を回し、田畠をうるおすように、～ながラーの活動が社会へ広がっていきます。



たとえば、こんなつながり

- アーティストへのインタビュー
- 地域の伝統「美濃縞」を見学！

美術館から、それぞれの活動へ船出

岐阜県美術館で行われるあんなことこんなことをつなげたり、～ながラーの活動を社会へ発信したりしていきます。広い海に向かって、いざ出航！



～ながラーで
培った心や
ネットワークを活かして、
岐阜の魅力を
再発見！



岐阜ではじまる
アートコミュニケーション、
あなたもやってみませんか？

岐阜県美術館からのメッセージ

リニューアルオープンを機に、基本理念を「美とふれあい、美と会話し、美を楽しむ」としました。美術館を、作品を鑑賞するだけでなく、地域性を発信し、人々の交流を通して、多彩なかたちでアートを体験する場として、美の楽しみ方を生み出しています。

2020年度活動報告

アイデアについて日比野館長とミーティングしたり、美術館の作品や建物をリサーチしたり、Zoomで会議しながら企画を生み出していくなど、美の楽しみ方を発信しています！

